

日本救急医療財団の活動報告

平 賢二 事務局長

2016年10月中旬から2016年12月上旬までの財団の活動について報告します。

総務部門に関する報告

仁平 正行 総務部

1. 総務委員会開催について

12月1日（木）13時00分より財団会議室において総務委員会が開催されました。

今回の主な議題は、「日本救急医療財団25周年記念誌」全体構成についての確認作業が行われました。

研修研究部門に関する報告

穂苅 幸夫 研修研究部

1. 病院前医療体制における指導医等研修（初級者）について

平成28年10月13日（木）から10月14日（金）までの2日間、福岡市博多区の南近代ビルにおいて、病院前医療体制における指導医等研修（初級者）を実施しました。

受講対象は、3年以上の救急臨床歴があり、これからMCを始める医師、現在も救急隊員への指導・助言を行っており、オンラインでも指示をしている医師、救急救命士・救急隊員の病院実習に関して院内コーディネーター役となる医師、二次救急医療機関において救急医療を担当している医師であり、今回は22名の受講者が参加されました。

研修の内容は、我が国の救急医療体制と病院前医療体制の概要、消防機関における救急業務及び救急救命士制度に対する理解、MCの基本と運用の理解、MC関連法規に対する理解、救急救命士が実施する救命処置、オンラインMCのワークショップ、局地災害のMCに関する問題の理解、事後検証、症例検討会の方法論のワークショップ、救急救命士等に対する教育のワークショップ、MC及び指導医の今後の展開のワークショップであり、ワークショップでは活発な意見交換がなされ、大変有意義な研修会となりました。

2. 医師救急医療業務実地修練について

平成28年10月27日（木）から10月28日（金）までの2日間、各病院（18施設）において施設研修を実施し、10月31日（月）から11月2日（水）までの3日間、東京都港区のリロの会議室田町会場において、医師救急医療業務実地修練を実施しました。

受講対象者は、二次・三次救急医療施設等に勤務し、救急の第一線で活動している者（日本救急医学会専門医（認定医を含む）またはそれと同等の知識、技術を有する者）であつ

て、施設長の推薦する者となっており、今回は 55 名の受講者が参加されました。

研修の内容は、救急医の法的問題の講義及びワークショップ、救急部門の管理運営に関することのワークショップ、小児患者の標準治療と最新治療、病院前救護体制と救急体制、災害・テロ対策に関することのワークショップ、地域において救急医療施設が果たす役割の講義、ワークショップ及び J P T E C に関する実技、救急医療と感染症情報であり、特にワークショップにおいては、活発な意見交換と受講生自身による体験により受講生の相互間での連帯感が深められ大変有意義な実地修練となりました。

3. 病院前医療体制における指導医等研修（初級者）について

平成 28 年 12 月 1 日（木）から 12 月 2 日（金）までの 2 日間、兵庫県神戸市の兵庫県災害医療センターにおいて、病院前医療体制における指導医等研修（初級者）を実施しました。

受講対象は、3 年以上の救急臨床歴があり、これから MC を始める医師、現在も救急隊員への指導・助言を行っており、オンラインでも指示をしている医師、救急救命士・救急隊員の病院実習に関して院内コーディネーター役となる医師、二次救急医療機関において救急医療を担当している医師であり、今回は 31 名の受講者が参加されました。

研修の内容は、我が国の救急医療体制と病院前医療体制の概要、消防機関における救急業務及び救急救命士制度に対する理解、MC の基本と運用の理解、MC 関連法規に対する理解、救急救命士が実施する救命処置、オンライン MC のワークショップ、局地災害の MC に関する問題の理解、事後検証、症例検討会の方法論のワークショップ、救急救命士等に対する教育のワークショップ、MC 及び指導医の今後の展開のワークショップであり、ワークショップでは活発な意見交換がなされ、大変有意義な研修会となりました。